

icmif

ICMIFへようこそ

協同組合/相互扶助の保険組織のための唯一のグローバルネットワークです。

国際協同組合保険連合(ICMIF)

は、協同組合/相互扶助の保険組織のための、世界で唯一の国際的連合体です。ICMIFは間もなく100周年を迎えますが、保険業がますますグローバル化し急速に進化する中、今日の協同組合・相互保険部門とICMIFの関連性はこれまで以上に高まっています。

ICMIFの目的は、そのグローバルなネットワークのもつ知識・能力・経験を活用し、この分野の利益を代表して主な関係機関に働きかけることによって、会員団体が戦略的目標を達成し、各々の市場で持続的に成長するのをお手伝いすることです。



ICMIFの会員ネットワークの特徴とは

ICMIFのネットワークは、世界中の200を超える加盟団体によって形成されており、団体により組織規模や取扱う保険種目はさまざまです。しかし、会員団体は相互扶助という価値観と、途切れることのない連帯の精神によって団結しています。

約70カ国にわたるICMIF会員団体は、本質的に協働志向であり、概してそれぞれの国内市場の平均を上回る優れた業績を上げています**。ICMIF会員団体の間で築かれている関係の中心にあるのは、信頼感と相互扶助の精神であり、これによって会員団体は、戦略的学習やスタッフ育成からベンチマーキング、共同事業に至るまで、幅広く有意義な交流ができるようになっているのです。

ICMIF会員団体のメリット

各組織に固有の戦略的課題に対処するのに役立つオーダーメイドのサービスを通じて、価値あるメリットを各会員団体に直接お届けします。

ICMIFの世界的なネットワークは、人脈形成と学習のための信頼できるユニークな環境を提供します。これは戦略的イベントやリーダーシップ育成プログラム、ウェビナー（オンライン・セミナー）などに参加する際にも、また仲間であるICMIF会員団体と直接連絡を取って知識を交換する際にも当てはまります。また、戦略面や財務面での独自の調査研究により、会員団体は自国内外の市場で相互扶助モデルを擁護し推進する力を得ることができます。大半のICMIF会員団体は国内団体ですが、会員同士は国際的な仲間であり、相互扶助に立脚するベスト・プラクティスとイノベーションを共有することによって、相互扶助事業の発展と成長を支援しようとしています。

協同組合／相互扶助の保険を弱い立場の人々が利用できるようにアクセスを拡大することで、何百万もの命と生活を守ります。

ICMIFのマイクロインシュランス戦略は、何百万もの世帯が保険にアクセスできるようにし、貧困からの脱却を支援します。先進国市場のICMIF会員団体の多くは、発展途上国市場における相互扶助・協同組合の保険会社に対し、進んで自社の事業に関する専門性を共有し、貴重な知識と知見を提供しています。また、ICMIFは潜在能力の高い会員団体の職員を対象として、ユニークで国際的な出向の機会を提供しており、対象者に与えられるチャレンジングで有意義な任務は、自己啓発の一環にもなります。

協同組合／相互扶助の事業モデルに関する意識を高め、社会の未来にとって不可欠な独特の特徴について理解を深めます。

ICMIF会員団体は、相互扶助や協同組合の保険組織が世界の経済や社会にもたらす価値の認知度を高めようとしています。また、この認識を、世界的・地域的・国家的なレベルで、規制・法律や事業支援の構造に反映し、実のある改善を実現するための行動を求めています。ICMIFは率先してこれらの機会を見極め、グローバルな協議の場にこの分野を代表して参加するよう、会員団体に呼びかけを行っています。

ICMIFの管理運営（ガバナンス）

ICMIFの管理運営（ガバナンス）の基礎は、真に民主的な構造です。ICMIFは会員団体が共同で所有する組織として、会員団体の積極的参画の下に管理運営されています。優れた協同組合が組合員のニーズに応えるように、ICMIFも会員団体のニーズや期待の変化を常に把握し対応しています。

ICMIFについてさらにお知りになりたい方は、下記までお問い合わせください。

リズ・グリーン（会員サービス担当シニア・ヴァイスプレジデント）

✉ liz@icmif.org

☎ +44 161 929 5090

* 相互保険および協同組合保険会社は現在、保険業界全体の27%を占めています。

** 国際協同組合保険連合(ICMIF)会員団体:2018年主要統計